

「今月の1枚」

苗木の動物被害



写真1 忌避剤の散布 2017年12月1日 奥南川国有林内にて

成熟したスギやヒノキの林を伐採して、再び植栽する「再造林」が近年増えつつありますが、植栽後はシカやノウサギとの闘いです。シカの多いところでは、防護柵で再造林地を囲って物理的に排除したり、チューブや網を苗木にかぶせることで動物による食害から守っています。いの町内の国有林に設定した植栽試験地では、軽度のシカとノウサギの食害がみられます。ここでは苗木の成長試験を行っているので、忌避剤という薬剤を散布して、この冬の食害から守ることにしました。研究者にとっても苗木の動物被害は面白いものになってきました。

(写真・文：北原文章・酒井敦、2017年12月1日、奥南川国有林内にて)

(No.274 2017.12.19 掲載)